



平成 30 年 4 月

PIARC 日本国内委員会事務局からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さま

日頃より PIARC へのご支援・ご配慮をいただき、誠にありがとうございます。会報 ROUTES/ROADS 第 375 号の発行にあわせて、今号の内容紹介をお届けいたします。なお昨年より各言語(英・仏・西)版を個別に出版し、皆さまのお手元には英語版をお届けしております。より読みやすくなった ROUTES/ROADS をぜひお楽しみください。

1. ROUTES/ROADS 最新号 巻頭記事



【今号の特集】

第 15 回 PIARC 国際冬期道路会議

【巻頭記事】

Wojciech Kowalewski 氏

(GDDKiA Director General / ポーランド)

冬の厳しい気象条件と予測不可能性は、道路管理者が国道ネットワークを安全かつ保守しやすい状態に保つために常に課題を提示します。成功した冬の道路管理の

重要な要素は、効果的なコミュニケーション、適切な危機管理手順、柔軟性と調整を確立することです。例えば、道路管理者は積雪除雪や雪捨て場、請負業者の監督などを行う必要があります。また都市圏であろうと農村部であろうと、環境面と気候変動の影響を考慮する必要があります。

PIARC 国際冬期道路会議においては、冬のメンテナンスに関する多くの専門分野に洞察をもたらし、トップレベルの役員、学識経験者およびビジネス専門家を集め、彼らの知識を共有し、意見交換することを期待しています。

(筆者要約)

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 会議活動報告 ----- 4 頁
- ✓ フランス:交通部門の官民ガバナンス事例 -- 6 頁
- ✓ イギリス:主要道路ネットワークの提案 -----10 頁
- ✓ ポーランド:国内委員会活動報告 -----15 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 -----19 頁
- 【今号の特集】
- ✓ 国際冬期道路会議の論文紹介 -----21 頁
- ✓ 道路の雪崩リスク管理 -----22 頁
- ✓ コネクテッドビークル実証実験における PIKALERT の利用 -----27 頁
- ✓ インドヒマラヤ地域における気候変動と道路構造物の適応必要性について ---31 頁
- ✓ フィンランド交通庁の冬期道路管理マニュアル-37 頁
- ✓ 冬期サービスにおける持続可能性の測定: --43 頁
- ✓ LARS と Lumi の技術的説明:
タイヤ-舗装の相互作用を研究するための
2つの装置 -----49 頁
- ✓ 各種出版物のご案内 -----59 頁

3. 国際冬期道路会議 2018 に関するご報告



第 15 回 PIARC 国際冬期道路会議が、2018 年 2 月 20 日から 23 日にかけて、大会のテーマ「*Providing a Safe and Sustainable Winter Road Service*」のもとポーランド共和国のグダニスク市において開催されました。日本の関係者の皆さまからも大変多くご参加いただきました。ここに厚く御礼を申し上げます。

【第 15 回 PIARC 国際冬期大会概要】

・事前登録者数：約 1000 人/40 カ国以上
(前回アンドラ大会事前登録者数：約 900 人)



(写真-1) 開会式での PIARC 会長のスピーチの様子

・12 の国や地域を含む合計 52 の展示ブース



(写真-2) 展示ブース状況(手前:日本ブース)

・大臣セッション

8 つの国から冬期道路サービスについてパネルディスカッションを実施され、日本からは国土交通省森技監が出席されました。



(写真-3) 大臣セッションの様子

・テクニカルセッション

約 300 本のアブストラクトから 169 編が査読を通過し、そのうち 139 編の論文(そのうち日本は 28 編)が口頭発表としてテクニカルセッションに招待されました。また、査読通過した中から合計 8 編に PIARC Best Paper 賞が授与され、日本からも 1 編が選ばれました。



(写真-4) テクニカルセッション(口頭発表)の様子

PIARC の活動に関するご質問等がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

PIARC 日本国内委員会事務局 (日本道路協会)
安藤: ando@road.or.jp
PIARC 本部事務局
並木: yuyanamiki@piarc.org

PIARC 日本国内委員会事務局